２０２１年１２月１日
東京電力ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ株式会社
福　島　復　興　本　社

福島復興本社における
賠償・環境再生・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○ 原子力損害賠償の進捗状況 ―――――――――――――― １ ～ ２
○ 福島復興へ向けた取り組み ―――――――――――――― ３ ～ ９

原子力損害賠償の進捗状況について

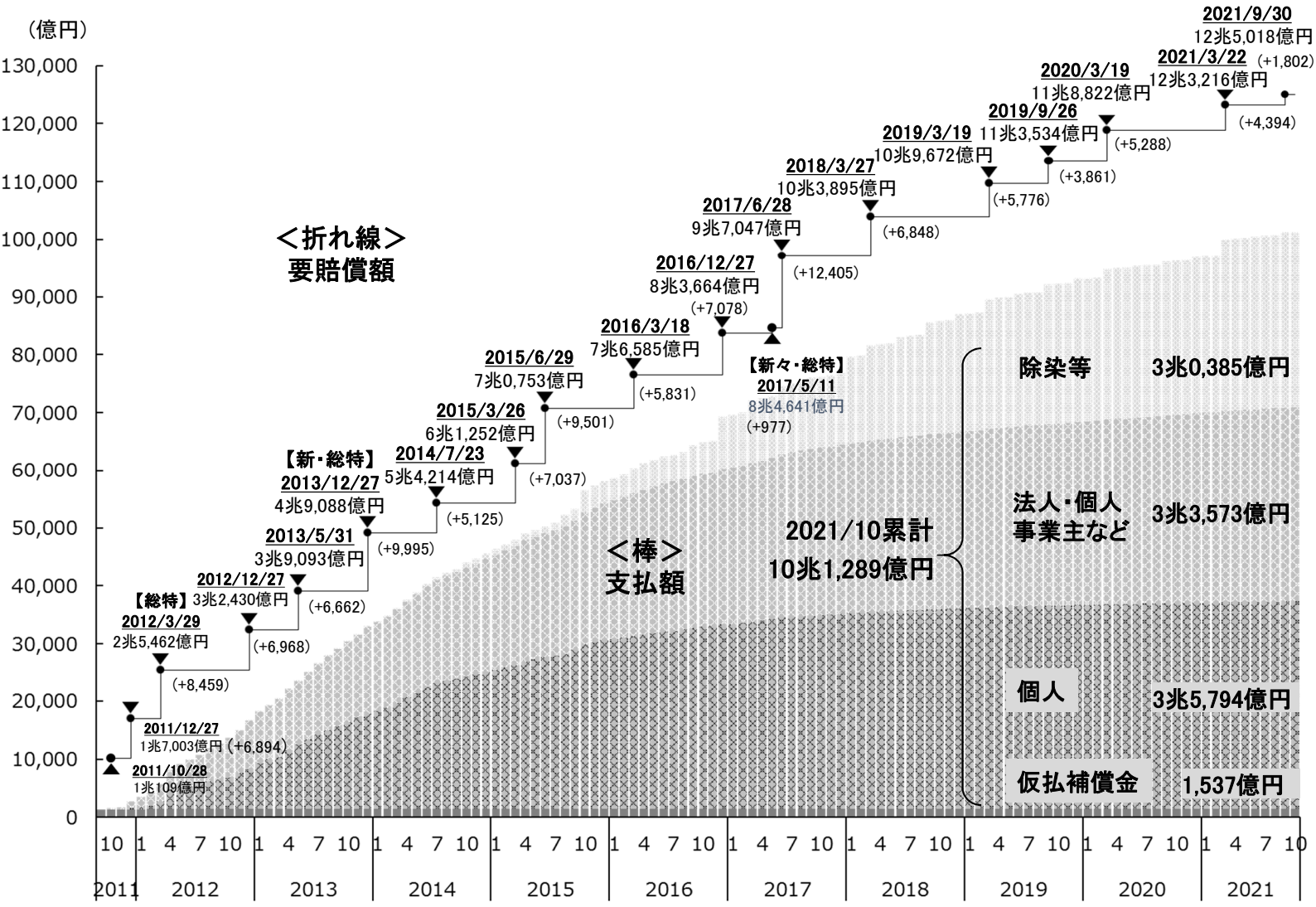
＜原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績＞

2021年10月31日現在

	個人　※1	法人・個人 事業主など	
ご請求について			
ご請求書受付件数（延べ件数）	**約2,444,000件**	**約531,000件**	
本賠償の状況について			
本賠償の件数（延べ件数）	**約2,308,000件**	**約455,000件**	
本賠償の金額　※2	**約3兆5,794億円**	**約6兆3,959億円**	
これまでのお支払い金額について			
本賠償の金額　※2		**約9兆9,752億円**	①
仮払補償金		**約1,537億円**	②
お支払い総額		**約10兆1,289億円**	①＋②

※1　個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2　仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。



＜賠償項目別の合意金額の状況＞

	要賠償額〈A〉 （2021年9月30日資金援助額変更申請）	合意いただけた実績※1〈B〉 （2021年10月末現在）
Ⅰ．個人の方に係る項目	**20,803億円**	**20,032億円**
検査費用等	3,470億円	2,795億円
精神的損害	10,992億円	10,913億円
自主的避難等	3,625億円	3,625億円
就労不能損害	2,715億円	2,698億円
Ⅱ．法人・個人事業主の方に係る項目	**32,304億円**	**31,256億円**
営業損害	5,495億円	5,421億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	19,173億円	18,919億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,306億円	2,597億円
間接損害等その他	4,328億円	4,317億円
Ⅲ．共通・その他	**22,401億円**	**19,603億円**
財物価値の喪失又は減少等	15,401億円	14,619億円
住居確保損害	6,750億円	4,734億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
Ⅳ．除染等※2	**49,508億円**	**30,385億円**
合計	**125,018億円**	**101,277億円**

※1　振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。　【B／A　81%】
※2　閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

＜ご案内を開始している主な賠償項目＞

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月：個人本賠償 （・精神的損害　・就労不能等に伴う損害　・検査費用 ・避難、帰宅、一時立入費用　・生命、身体的損害　等）	9月：法人本賠償 （・営業損害　・出荷制限指示等による損害 ・風評被害　・間接損害　等）
2012年	2月：自動車に対する賠償　自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月：建物の修復費用等に係る賠償	2月：自動車に対する賠償 12月：償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月：宅地・建物・借地権等に係る賠償　、　家財の賠償 11月：田畑に係る賠償	3月：宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月：田畑に係る賠償
2014年	1月：精神的損害（要介護者さま等への増額）に係る賠償 3月：移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償　、　仏壇の賠償 4月：住居確保に係る費用の賠償 7月：墓石等の修理に係る賠償 9月：宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償　、　自主的除染に係る費用の賠償	9月：宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月：家財の個別賠償 3月：福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月：墓石等の移転に係る賠償 6月：避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月：避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月：新たな営業損害賠償等
2016年	2月：住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し	12月：農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月：住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し	12月：平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月：移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月：2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月：2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月：住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し 9月：消費税率引上げにともなう住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し	

＜ADRの対応状況＞

2021年10月22日現在

申立件数		27,438件
解決件数		26,405件
	全部和解件数	21,086件
	取下げ件数	2,983件
	打切り件数	2,334件
	却下	1件
	和解の仲介をしない	1件
現在進行中の件数		1,033件

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは27,345件（10月29日現在）、月平均で約104件（2021年）
※現在進行中の件数のうち、19件は一部和解が成立している
※和解金額は約3,404億円

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

福島復興へ向けた取り組み

福島復興へ向けた取り組み実績

■2021年10月までの実績

環境再生・復興推進活動

活動人数
1,017,928人
（前月比＋5,782人）

復興本社設立（2013年1月）からの累計

環境再生・復興推進活動

対応件数
3,756件/年度※
（前月比＋472件）

※2021年度の累計

原子力損害賠償

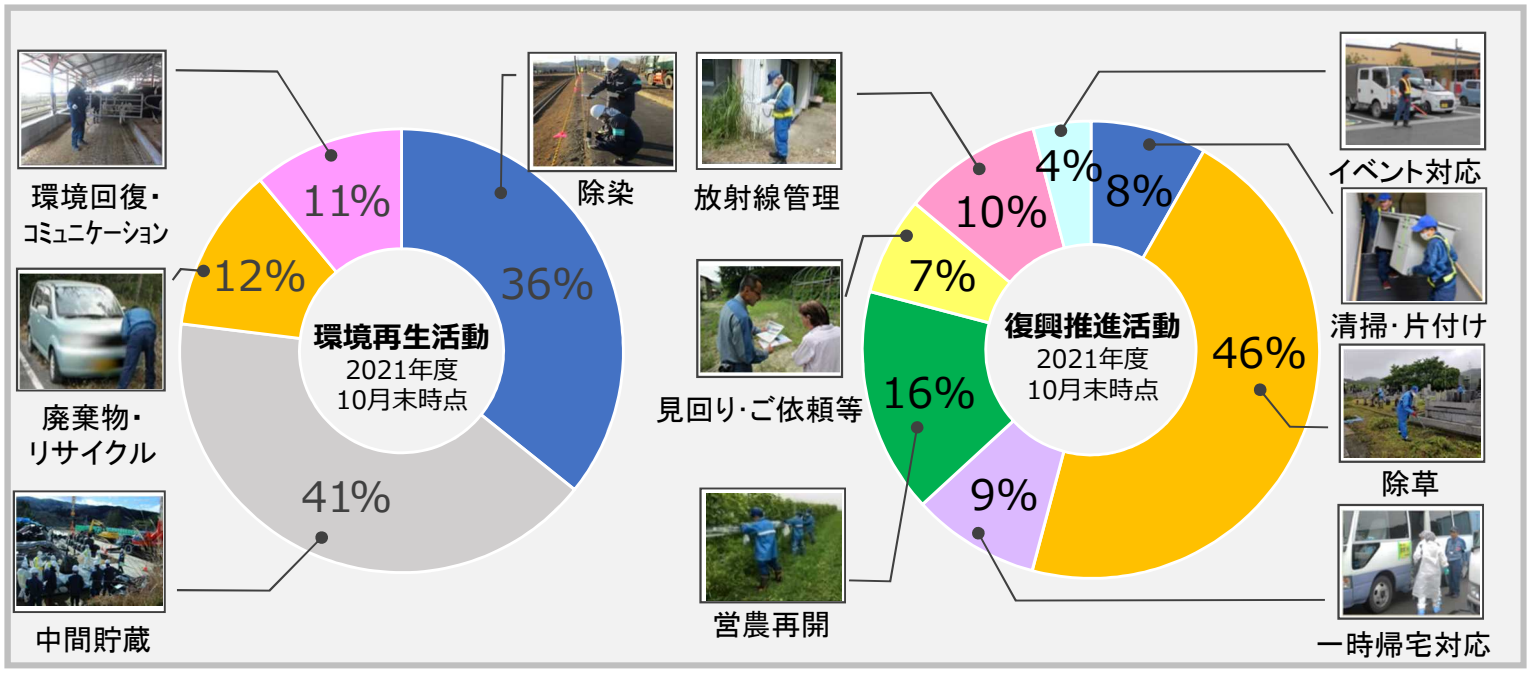
賠償お支払総額
約 10兆1,289億円
（前月比＋68億円）

流通促進活動

イベント開催日数※
12,464日
（前月比＋729日）

ふくしま流通促進室発足（2018年２月）からの累計
※イベント開催・・・試食販売会・飲食店フェア等

■ 環境再生・復興推進活動の業務別割合



■ 今後の主な活動予定

〔凡例〕【環】・・環境再生活動　【復】・・復興推進活動　【流】・・流通促室活動　【他】・・その他

- 【復】12月地域行事・イベントへの協力
- 【流】12月の福島県産品販売会の開催予定（①～④）
  〔首都圏・福島県・ECサイト〕 ①「発見！ふくしま」キャンペーン ～ふくしま！海と大地の収穫祭～
  開催期間：2021年10月２日(土)～12月17日（金）※催しごとに開催期間は異なる
  〔福島県〕 ②スーパーマーケットいちい（街なか店）様　12月１日（水）～ ６日（月）
  〔首都圏〕 ③ ニュー・クイック（シャポー船橋店）　様　12月３日（金）～ ４日（土）
  ④ ニュー・クイック（桶川店・川越店）　様　12月17日（金）～18日（土）

福島復興へ向けた取り組み①

地域の特産品づくりに向けた営農活動の取り組み

取組内容	➢ 地域のみなさまのご要望をお伺いしながら、地域の状況に応じた取り組みを実施 ➢ 復興の進む地域では「地域の特産品づくり」のお手伝いを実施 ➢ 当社は、これまでの活動で培ったノウハウや経験を活かして、春先の準備から収穫まで１年を通してお手伝い

楢葉町

- 2020年12月に地元農家の方々により「楢葉町甘藷（かんしょ）生産部会」（※）設立
- 今秋、生産部会設立後初めての収穫を迎えた
- 当社は楢葉町甘藷生産部会からの依頼により、サツマイモ栽培を行う地元農家の皆さまと一緒に収穫作業を実施

※「楢葉町甘藷生産部会」：2020年12月、農業再生の実践と楢葉町のサツマイモの一大産地化を目的に楢葉町が主体で設立。会員はJA福島さくらふたば地区の地元生産農家を中心に構成されている

地元農家の皆さまと打ち合わせ

収穫作業

収穫されたサツマイモ

川内村

- 今年６月にワイン醸造所が開所してから、初めての収穫を迎えた
- 川内村からの依頼により、４月以降、病害予防に必要なレインガードや防鳥ネットの取付を実施
- ボランティアの方々による収穫後、当社は葡萄の選果や防鳥ネットの撤収等を実施

立派に実った葡萄

収穫後の選果

防鳥ネットの撤収

福島復興へ向けた取り組み②

大熊町における営農再開・環境再生に向けた取り組み

大熊町

取組内容	【これまで】 ➢ 当社は、2019年より大熊町で営農再開や環境再生に向けたお手伝いを実施 ➢ 具体的には、「水稲栽培」や「緑肥植物(※)による地力回復」等を実施 ※「緑肥」：栽培している植物を収穫せずそのまま田畑の土に混ぜ込み、後に栽培する作物の肥料にすること 【今　回】 ➢ 2021年3月に大熊町より町内イベント等での活用を目的として、震災後初となる大熊町でのサツマイモの生産に向けたお手伝いの依頼をいただいた ➢ 2021年4月に肥料散布、6月には獣害対策用の電気柵設置やサツマイモの苗植え、10月に収穫等のお手伝いを実施 ➢ 収穫されたサツマイモは、大熊町役場へ来庁された町民の皆さまへ振る舞われた ➢ これらの取り組みを通じて、帰還された方の生活再建や、一人でも多くの方の帰還につながるようお手伝いを実施

【これまで】

緑肥植物の生育状況調査 【2019年10月】

水田用水路の泥上げ 【2021年4月】

【今　回】

サツマイモの苗植え 【2021年6月】

収穫されたサツマイモ

サツマイモの収穫 【2021年10月】

福島復興へ向けた取り組み③

～秋のにぎわい～ 各地域イベントのお手伝い

取組内容	➢ 秋空の下「伝統芸能の舞」や「秋の実りを祝うイベント」などが各地で開催され会場は多くの来場者で賑わいをみせた ➢ 当社は、ブースの出店や、イベント会場の準備、運営補助、駐車場誘導のお手伝いを実施

川俣町

とんやの郷「TONYA2021」
11月７日（日）

飯舘村

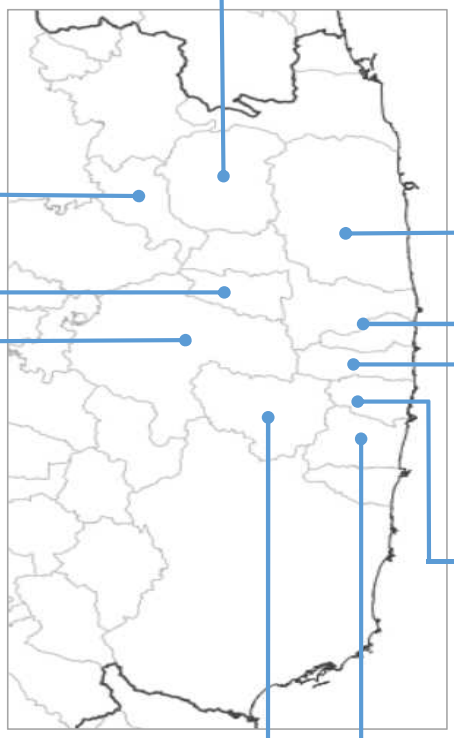
第11回老人クラブ連合会パークゴルフ大会
11月６日（土）

南相馬市

ウインターフェスティバル
11月20日（土）

葛尾村

葛尾大尽屋敷「能・狂言」
11月３日（祝）



浪江町・双葉町・大熊町・葛尾村

標葉祭り
11月６日（土）

田村市

みやこじオータムフェスタ
10月31日（日）

大熊町

紅葉の坂下ダムウォーキング
11月28日（日）

川内村

第7回かわうち祭り-秋の陣-
11月７日（日）

楢葉町

KIDODAMスワン祭り
９月26日（日）

富岡町

第33回ふくしま緑の百景歩こう会
10月31日（日）

福島復興へ向けた取り組み④

福島県産品の流通促進に向けた取り組み

～福島県産のお米・牛肉・水産品などを取り扱うフェアを多数開催～
【主な福島県産品販売会（10月実績）】

■シャポー市川様にて「ふくしまフェア」初開催（10/15～10/17）

・JR総武線市川駅直結のショッピングセンター「シャポー市川」様において、お米・精肉・水産品・青果などを取り揃えた「ふくしまフェア」を開催

精肉販売コーナー

お米、精肉、水産品、青果販売コーナー

■大丸東京店様、松坂屋上野店様にて「ふくしまフェア」同時開催（10/20～11/2）

・ふくしまみらいチャレンジプロジェクト事業者様の出店の他、食品と飲食店のフロア連携による旬の食材をPR
・福島県の新ブランド米「福、笑い」のPR販売
・レシピカードを活用した水産品のPR販売等

特設会場にて
“ふくしまみらいチャレンジプロジェクト”
参加事業者様の商品販売

「ふくしまみらいチャレンジプロジェクト」
地域を想い果敢に挑戦する事業者の皆さまをはじめ、地域の皆さまとともに、一過性のものではなく、将来的に地域に定着する産業の創出を目指して立ち上がったプロジェクト。

新ブランド米『福、笑い』

大丸東京店様「福、笑い」の販売コーナー

“レシピカード”配布で
水産品PR

福島復興へ向けた取り組み⑤

福島県産品の流通促進に向けた取り組み

～福島県産のお米・牛肉・水産品などを取り扱うフェアを多数開催～
【主な福島県産品販売会（11月実績）】

■二子玉川ライズ ガレリアにて「新米販売イベント」開催（11/3～11/4）

- JA全農福島様、南相馬市様と協力し、浜・中・会津（三地域）の「新米」をパッケージ販売
- マルシェやキッチンカーによる新米を使った新商品やメニューの提供により、県産米の魅力を発信

寿司職人　岡田大介様による県産食材を使った料理ショー

“天のつぶ”ふくしま海と大地のジャーニーセット

新米三種パッケージ（写真右）
左から、こしひかり(会津産)・こしひかり(須賀川産)・天のつぶ(南相馬産)

イベント会場の様子

福島県産品の販売・展示

南相馬市様の観光情報を展示

福島復興へ向けた取り組み⑥

福島県産品の流通促進に向けた取り組み

～福島県産のお米・牛肉・水産品などを取り扱うフェアを多数開催～
【主な福島県産品販売会（11月実績）】

■「発見！ふくしまお魚まつり」の開催（11/19～11/21）

・日比谷公園（東京都千代田区）において「ジャパン・フィッシャーマンズ・フェスティバル」と連携して、“常磐もの”のPRイベントを実施
・8つのブースを出店し、全12種類の常磐ものとお米を使ったメニュー2万食以上、日本酒3千名分を販売

「発見！ふくしまお魚まつり」テープカット

「発見！ふくしまお魚まつり」開会の様子

浜通りのゆるキャラも登場

さんまの塩焼き

イカスミのパエリア

出店ブースで提供した常磐もの・県産日本酒など

ノドグロとヒラメの常磐もの丼

ほっき飯

8ブースを出店し常磐ものを使った
12種類のメニュー2万食以上を販売

ふくしまの日本酒販売